

外部委託業者の募集

References: PIN/OT/7-734/YMA

“Heavy Duty Radiation Tolerant Tool Changer and Force/Torque Sensor Development ”

(放射線耐性のあるツールチェンジャーと力トルクセンサーの開発)

IO 締め切り 2021 年 11 月 12 日(金)、国内締め切り 2021 年 11 月 12 日(金)

○目的

この事前指示通知書 (PIN) は、フレームワーク・サービス契約の締結につながる公開入札調達プロセスの最初のステップです。

この文書の目的は、作業範囲と入札プロセスに関する技術的内容の基本的な概要を提供することです。

国内機関は、これらのサービスを提供することができる企業、機関又はその他の団体が入札の詳細を事前に通知する前に、この情報を公表するよう求められます。

○背景

ITER プロジェクトは、欧州連合 (EU) (EURATOM を代表とする)、日本、中華人民共和国、インド、韓国、ロシア連邦、米国の 7 カ国が共同出資する国際的な研究開発プロジェクトで、ITER 機構 (IO) の本部 (HQ) があるヨーロッパ、フランス南部のサン・ポール・レ・デュランスで建設されています。

ITER プロジェクトの組織面および技術面の詳細については、www.iter.org を参照してください。

○作業範囲

ITER ブランケット遠隔操作システム (BRHS) ロボットは、ITER トカマク (トロイダル真空容器) 内の重量部品を遠隔操作して保守するように設計されています。BRHS でトカマク部品のメンテナンスを行うためには、多種多様なエンドエフェクタと補助工具が必要です。

これらの操作の効率と柔軟性を高めるために、BRHS は、異なるエンドエフェクタにサービスを供給するための自動サービス接続を備えたツールチェンジャーを使用します。

ロボットのドッキング/ドッキング解除制御を監視し、容器内の固定ターゲットに固定するために、BRHS は力およびトルクセンサーを統合します。

契約者は、以下の 2 種類の特注構成部品のエンジニアリング、資格試験及び生産を提供するものとする。

- ロット A:高荷重耐放射線性ツールチェンジャー
- ロット B:高負荷放射線耐性力およびトルク多軸変換器

詳細については、技術仕様書 ITER_D_4 KC 7 NJ v 1.1 (この PIN に添付)を参照してください。

これらの目的に最善の方法で対処するために、作業の範囲は 2 つのロットに分割され、入札者は 1 つまたは 2 つのロットに適用することを決定できます。

○概略日程

マイルストーン	暫定日程
事前指示書（PIN）の発行	2021 年 10 月 26 日
関心表明フォームの提出	2021 年 11 月 9 日
入札への招待の発行	2021 年 11 月 15 日の週
質問（もしあれば）とその回答	2021 年 11 月/12 月
入札提出	2022 年 1 月
入札評価および契約締結	2022 年 1 月/2 月
契約調印	2022 年 2 月
契約開始	2022 年 2 月（タスクオーダーにて）

○契約期間

ITER 機構は、2022 年の初めにサービス・フレームワーク契約を締結します。予定される契約期間は、36 か月とします。

ITER の作業言語は英語であり、専門的なレベル（話し言葉と書き言葉）が要求されます。

○経験

入札者は、重荷重ツールチェンジャーおよび/または重荷重力およびトルク多軸トランスデューサーの設計、開発、テストおよび生産における知識、経験および能力を証明するものとします。

入札者は、原子力、クリーン及び遠隔環境が機器の設計に及ぼす制約を理解していることを実証し、以前に開発された耐放射線製品があればその例を提供しなければなりません。

○候補

参加は、個人またはグループ/コンソーシアムに参加するすべての法人に開放されます。法人とは、法的権利及び義務を有し、ITER加盟国内に設立された個人、企業又は機構をいいます。

法人は、単独で、またはコンソーシアムパートナーとして、同じ契約の複数の申請または入札に参加することはできません。共同事業体は、恒久的な、法的に確立されたグループ又は特定の入札手続のために非公式に構成されたグループとすることができます。

コンソーシアムのすべての構成員(すなわち、リーダーと他のすべてのメンバー)は、イーター機構に対して連帯して責任を負います。

コンソーシアムとして許可されるために、その点で含まれる法人はコンソーシアムの各メンバーをまとめる権限をもつリーダーをもたなければなりません。このリーダーはコンソーシアムの各目メンバーのために責任を負わなければなりません。

指名されたコンソーシアムのリーダーは、入札段階でのカバーレター(入札への招待)で、コンソーシアムのメンバーの構成を説明する予定です。その後、候補者の構成は、いかなる変更もITER機構に通知することなく変更してはなりません。かかる認可の証拠は、すべてのコンソーシアムメンバーの法的に授権された署名者が署名した委任状の形式で、しかるべき時期にIOに提出しなければなりません。

【※ 詳しくは添付の英語版技術仕様書「**Heavy Duty Radiation Tolerant Tool Changer and Force/Torque Sensor Development**」をご参照ください。】

ITER 公式ウェブ <http://www.iter.org/org/team/adm/proc/overview> からもアクセスが可能です。

「核融合エネルギー研究開発部門」の HP : <http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/index.html>
では ITER 機構からの各募集 (IO 職員募集、IO 外部委託、IO エキスパート募集) を逐次更新しています。ぜひご確認ください。